



県評しずおか

静岡県労働組合評議会

〒420-0851

静岡市葵区黒金町55番地

交通ビル3階

TEL 054-287-1293 FAX 054-286-7973

Eメール kenpyo@mail.wbs.ne.jp



地域や社会に出て 力いっぱい闘おう

あけまして
おめでとーございませう

議長 菊池 仁

県評議長に就任し、4年目になりました。

昨年をふりかえると、コロナ危機との闘いに明け暮れた1年でした。次々に現れる変異株に翻弄され、第5波では東京のコロナ病床が満床となり、入院すべき患者が入院できず、自宅療養中に亡くなられるという事態も起こりました。

医療崩壊と言っている状態でした。そうした中でも医療従事者や保健所職員らの昼夜を問わず奮闘する姿に感謝の気持ちと何かの形で報いていきたいの思いを強くしたのではないのでしょうか。

しかし、これまでの政権

により、強行されてきた医療や保健所の大幅削減と、コロナパンデミックに対する政府の無策ぶりに憤りを覚えます。こんな政府に政治を任せておいていいのでしょうか。

熱海市の土石流災害 被災者にお見舞い 申し上げます

そして、もうひとつ思い出されるのが、7月に熱海市で発生した土石流災害です。被災された方にお見舞い申し上げます。県評傘下の組合員にも住宅の被害にあった方がいるとの報告がありました。

一刻も早く生活が再建できることを願っています。

そして、まだ見つからない1人の方の発見を願うばかりです。

災害発生時から、消防や警察、自治体職員などは休むことなく災害対応にあたつたと聞きます。頻発する災害に対する政府や自治体の体制づくりが急務となつていきます。また、災害義援金カンパへのご協力ありがとうございます。

集まりました義援金は、11月26日に直接熱海市長に渡したことを報告いたします。

22国民春闘が始まる

今年の春闘は、普通の生活ができる賃金を保証させるために最低賃金の引き上げを求めるたたかいが重要となります。最低賃金全国一律1500円の実現をめざす取り組みを進めます。そして、こうした社会



菊池仁議長

的な賃上げ闘争と同時に、個々の労働組合は、企業内における最低賃金の要求を重視していきます。これだけの賃金が必要なのではない

う要求をくみ上げるため、職場討議を進めていきましよう。

労働組合が消極的になつて要求しなくなつては、使

22年新春宣言

だれもが希望を もてる社会の実現を

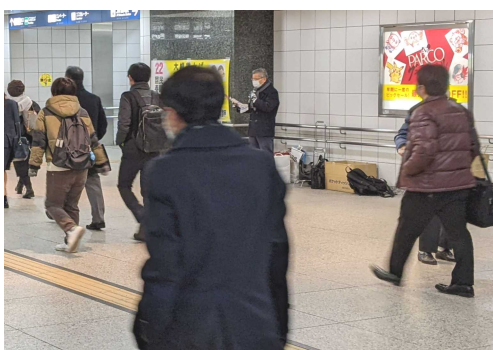
静岡県春闘共闘会議

1月6日、静岡県春闘共闘会議は、22春闘新春宣伝行動を県下各地で行いました。

静岡市では、7時30分より静岡駅地下道で県評はじめ静岡地区労連、自治労連の仲間が22春闘のチラシを配布しました。

松川県評事務局局長は「日本の賃金は1997年をピークに下がり続けている。韓国やアメリカなどの賃金は上がっている。この間、日本では非正規労働者が2009年に1727万人(31.6%)から2019年には2165万人(38.3%)と増加している。賃金格差は、男性正規労働者を100とすると女性非正規労働者は50・8と半分となっている。

しかし、大企業はコロナ禍でも内部留保を46兆6兆円に増やしている。私たちは、すべての労働者の大幅賃上げ・底上げと雇用の安定を要求し、最低賃金を全国一律1500円に、ジェンダー平等、年



大幅賃上げ・底上げと雇用の安定を訴える松川さん
11月6日、静岡市

に、希望ある社会が待っていることに確信をもつて前へと進んでいきましよう。

春闘勝利のポイントは 職場からの要求討議

東海北陸ブロック地方協議会総会



金沢市で開催された全労連・東海北陸ブロックの総会=11日

次に2021年度活動報告と2022年度方針案などが提案され、承認されました。

この後、各県の取り組み状況が発表され、松川事務局長から静岡県評の状況、菊池議長からは県の公契約条例の取り組みについて報告。堀内副議長は西部地区労連のレクリエーションを始めとする様々な取り組み、女性部執行委員の岩田さんは、角田由紀子弁護士を招いて「セクハラ大日本なのは、なぜ!」の講演を行うブロック女性交流集会のお誘いを行いました。

ここ15年で先進国の内、日本だけ賃金が下がり、OECD35カ国中22位で米55%しかない賃金だという状況のなか、大幅賃上げが必要であり、特に介護・医療労働者などコロナ禍でエッセンシャルワーカーの賃上げ・底上げが必要である。

金改善。公務労働者の賃上げと増員を求め、だれもが希望をもてる社会の実現を。あなたも労働組合に入って働き方、暮らしを変えていきましよう」と訴えました。浜松市・沼津市でも駅前

貸会議室

ご予約・お問い合わせは
一財) 国鉄労働会館静岡地方部へ
TEL 054 (285) 4426 FAX 054 (283) 6835

★ 静岡駅南口から徒歩1分
定員14名・30名(各1室)
少人数の打合わせ・会議・講習会におすすめです

